



Season 20|21

# 椿姫

バレエ全3幕

## モスクワ公演収録

### スケジュール

13:00 | 19:00 インタロダクション  
 13:15 | 19:15 第1幕  
 13:57 | 19:57 休憩 インタビュー：アンナ・チホミロワ  
 14:07 | 20:07 第2幕  
 14:49 | 20:49 休憩 インタビュー：ケヴィン・ヘイゲン  
 15:02 | 21:02 第3幕  
 15:47 | 21:47 終演・クレジット  
 15:55 | 21:55 終映

音楽 フレデリック・ショパン

振付 ジョン・ノイマイヤー

音楽 指揮：パヴェル・ソロキン

ポリショイ劇場管弦楽団

司会およびインタビュー カテリーナ・ノヴィコワ

### キャスト

マルグリット・ゴージェ

スヴェトラナ・ザハーロワ

アルマン・デュヴァル エドウィン・レヴァツォフ

マノン・レスコー アンナ・チホミロワ

デ・グリユー セミヨン・チョージン

ムッシュー・デュヴァル

アンドレイ・メルクリエフ

監督 ヴァンサン・バタイヨン

2015年12月6日(日)モスクワ公演収録

劇中劇として、「マノン・レスコー」が展開します（「椿姫」原作は1848年、「マノン・レスコー」は1731年の小説）。名家の騎士デ・グリユーは、美しく奔放なマノンに一目惚れ。マノンをなんとか説得して駆け落ちをします。しかし、マノンはすぐにデ・グリユーを裏切り、デ・グリユーも犯罪に手を染め……。数々の男を夢中にさせてしまうマノンは、ついには捕まりアメリカへ送られることに。デ・グリユーもマノンを追いかけて渡米しますが、二人の逃避行は——。そんな、“魔性の女”マノンと“真実の愛”の物語です。

**プロローグ** 今は亡きかつての恋人、高級娼婦だったマルグリット・ゴージェのアパルトマンに駆け込むブルジョワ青年アルマン・デュヴァル。彼は彼女の死に打ちひしがれ、在りし日の彼女の思い出にふけるのだった。

**第1幕** いかにして自分がマルグリットに恋したかを語るアルマン。彼女は類まれなる美しさを持ちながらも病に脅かされていた。マルグリットは二人の恋を決して公にしようとはせず、贅沢で放埒な生活を変えようとはしないのだった。

**第2幕** ある時、アルマンと恋敵の間で彼女をめぐる激論がおこり、マルグリットはアルマンを本気で愛していると公にする。それを知ったアルマンの父親は二人の関係に反対、息子の知らないところでマルグリットに彼と別れ、再び娼婦として生きるよう説得し、彼女はそれに同意。アルマンを愛するがゆえ、自らの気持ちを犠牲にするのだった…

**第3幕** マルグリットを見返してやりたいという一心から、アルマンは別の娼婦と付き合い、二人の関係をマルグリットに見せ付けるようになる。マルグリットは、アルマンへの愛と彼の父親との約束の狭間で苦しむのだった。



◆2021年5月18日(火)  
《ロミオとジュリエット》



◆2021年6月1日(火)  
《パリの炎》